



あまいみす



彦二：はい、どうもどうも、彦二ですよ
高見：こんにちは、高見です。今回はこんな本になってしまいました
彦二：憧れの高見先輩と合同誌が出せるなんて、夢みたいです！
高見：ほ、僕だってさ！やりすぎてしまうかもしれん…
彦二：まあいいや、今回のあらまし説明してやって
高見：ローゼンでエロはやらない、それが僕らの信条でした。しかし…仏像の中の男があっしやった
彦二：エロを描けと？
高見：「翠ちゃんとO×△したいですう」
彦二：ハイ終了！でも本当は兄さんもエロ描きたかったんでしょ？
高見：そ、そんなことはないよ…
彦二：またまたそんなことを…またまたただにココはシッポリと濡れそぼってらっしゃる
高見：それはおもにおしっこだ
彦二：ご褒美です！ご褒美です！銀ちゃんのおそこに如雨露のさきっぽ刺してシャワーにし隊、総勢一名参上！
高見：入隊したい…いや、銀ちゃんを汚すわけには…いやいや…
高見：まあ、ローゼンではエロ描かないつもりだったけど、何故か思ってしまったんですよ
「翠ならエロやっても許される気がする」と
彦二：まあお色気担当なところはあるよね、具体的に「どこが？」といわれるとわからんのだが…
こう…昇り立つような…むわっとするような何かが…夏の日のお姉さんの腋の下みたいな
高見：その認識が実は仏像の中の男の洗脳によるものだったとしたら…
彦二：すでに始まっていたのかもしれない…でも俺はカナを愛するよ
高見：僕だって銀ちゃんを愛しているし！
彦二：いやいや、兄さんのは愛じゃなくて偏執的なものが高、犯罪の臭いがするよ
高見：またそうやって僕を変態扱いして楽しいか
彦二：変態扱い？変態に変態扱いってのは人間を人間扱いするっていう意味と同じだぞ、おかしいぞおかしいぞ？
高見：あ、あれ…？ほ、僕は正当な扱いを受けていたの…かしら？
彦二：そうだよ、そのままでいいんだよ…ん？かしら？かしらだと！？カナ！？カナなんだね！？
高見：ダメだ、こいつ！…まあ、お互い様な気がするけどね。これが僕たちの生き様
彦二：うおおおカナ—————！！いこう！
高見：どこへだ？
彦二：おれたいのせかいへ！
高見：大事なところで咬むなよ！





羽卒星石は
そんた本見てない
ですー！

あ、
そいなんだ？

たーから



この本未開封だったのに
あいてたからさー！
羽卒星石かてマハったよ

いやー

絶対フック
油地獄



ごめんごめん
とーんらへん本
とまにいらなかつた？

まだ

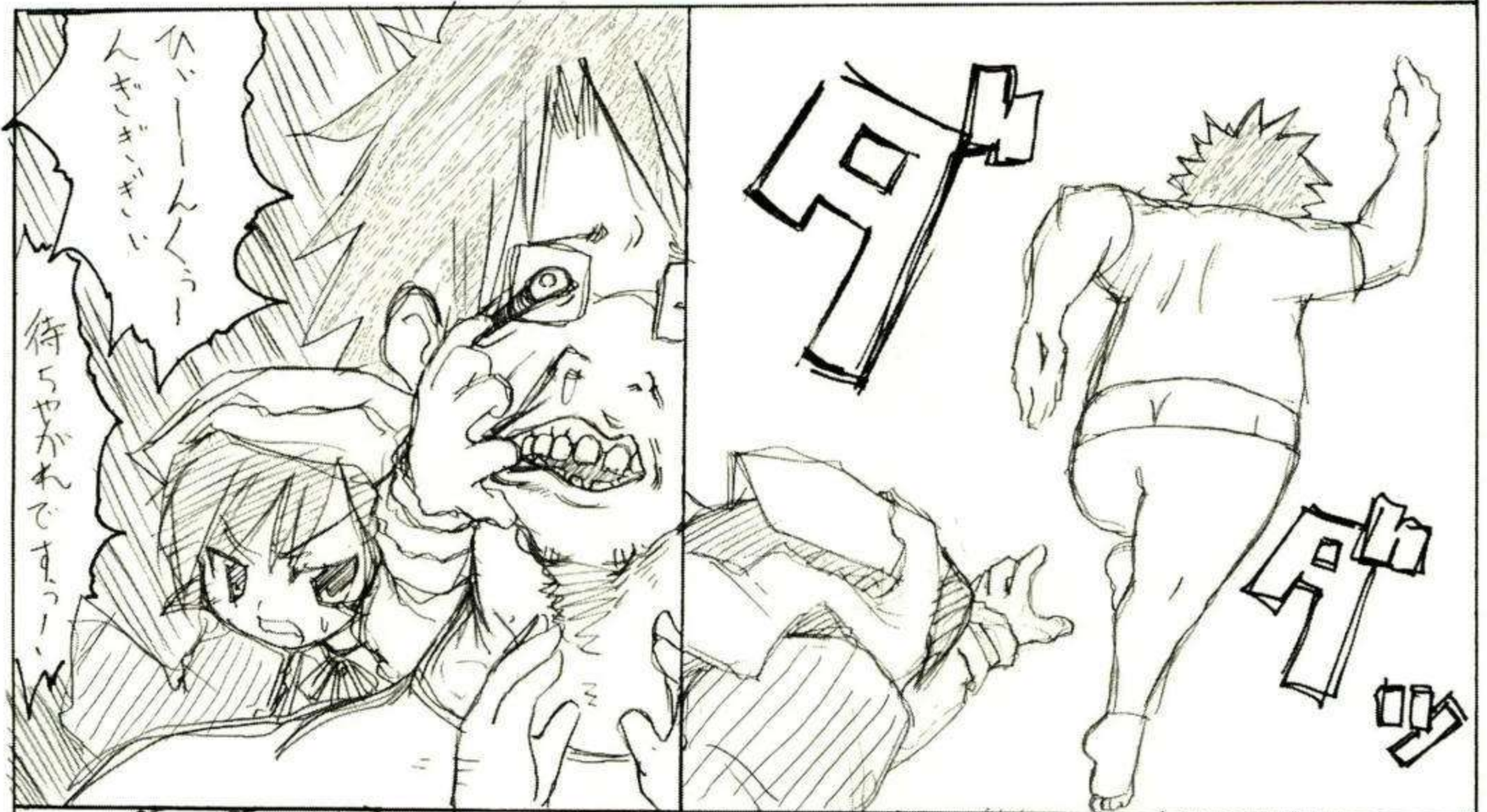
千一郎の太キマニル
リアリテはないです

なんでそこで
羽卒星石に
なってますか
こんちくしよー

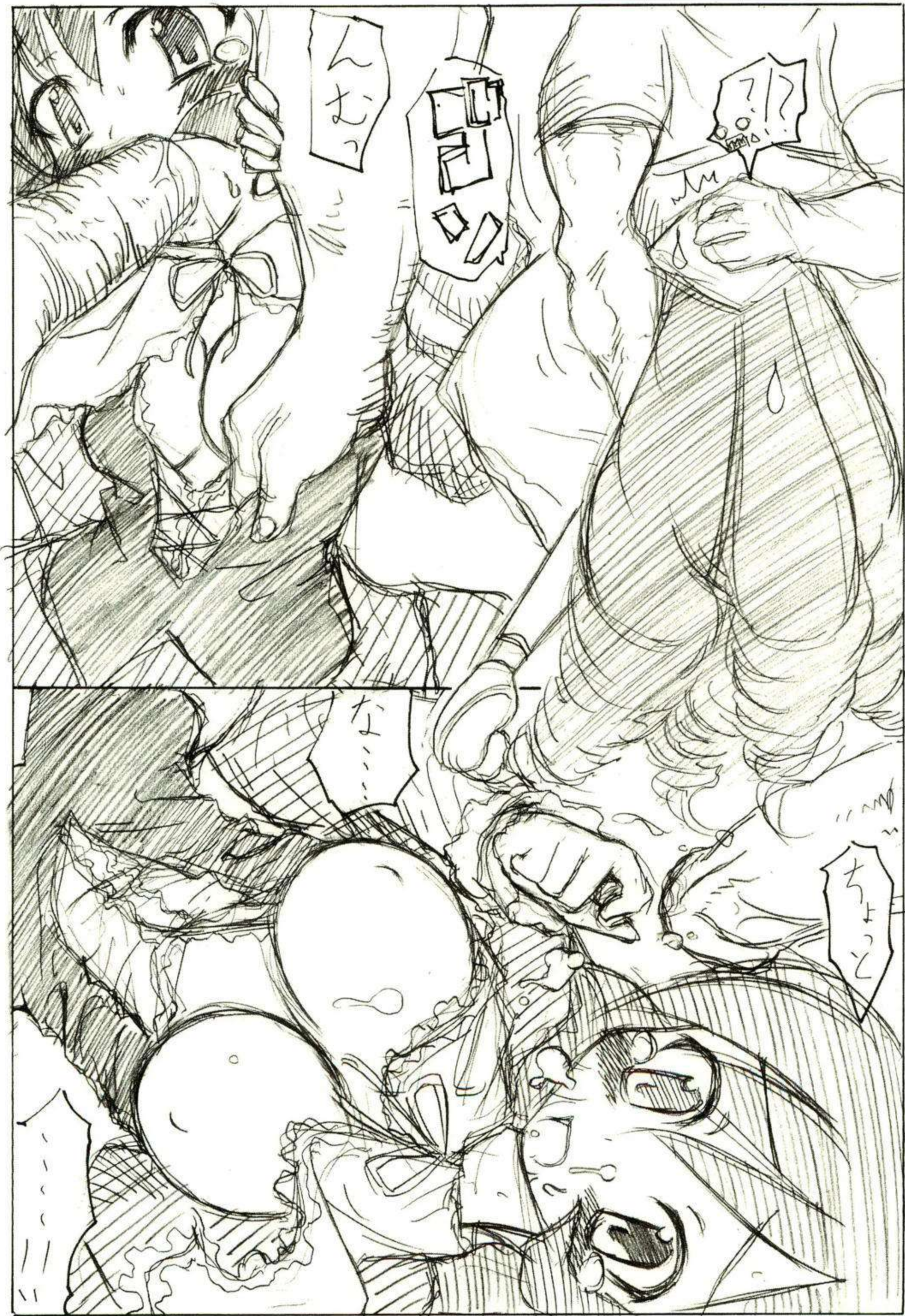


おま

おま



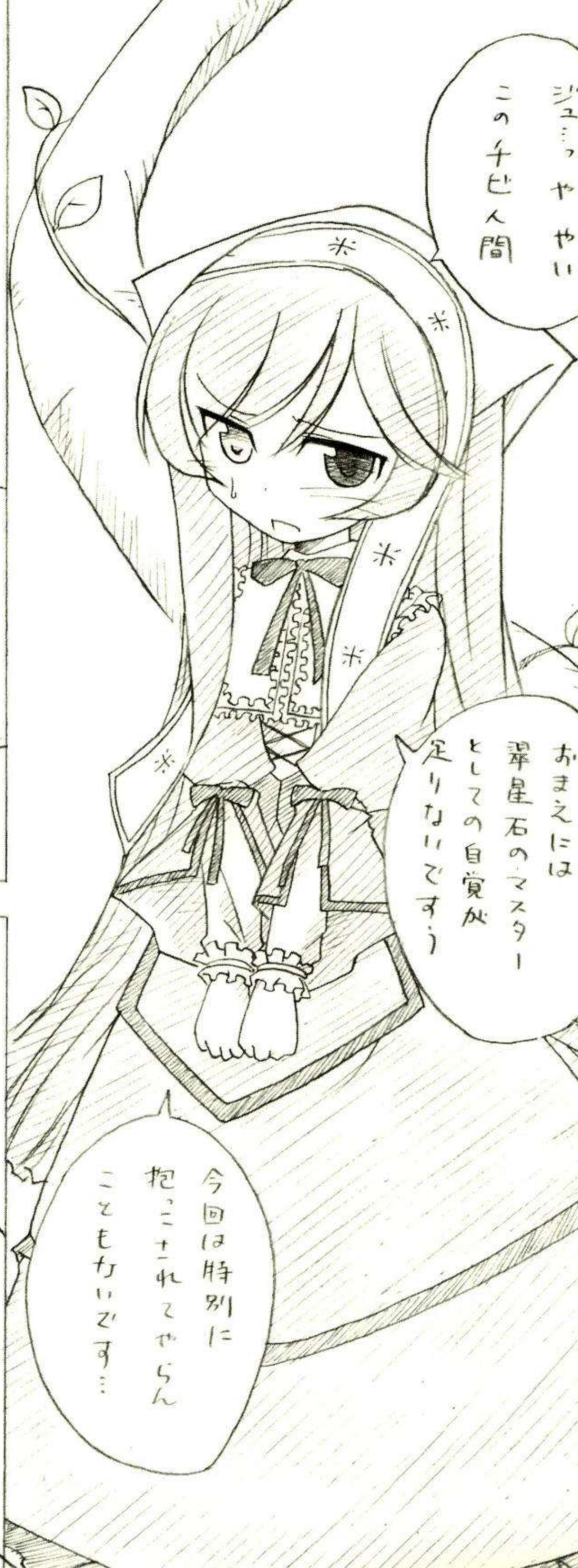








ミハんだよ
唐突に



ジュッややい
この千世人間

おまえには
翠星石のマスター
としての自覚が
足りないのですう

今回は特別に
抱こされません
こともわいす...



とっ
唐突もへたくれも
あるかですう!!

うわっ
ホカ
ホカ
さっさと
しやがれです!!

ミニこれ
いいのか？



ちよこん



ドキ
ドキ

ドキ

ドキ



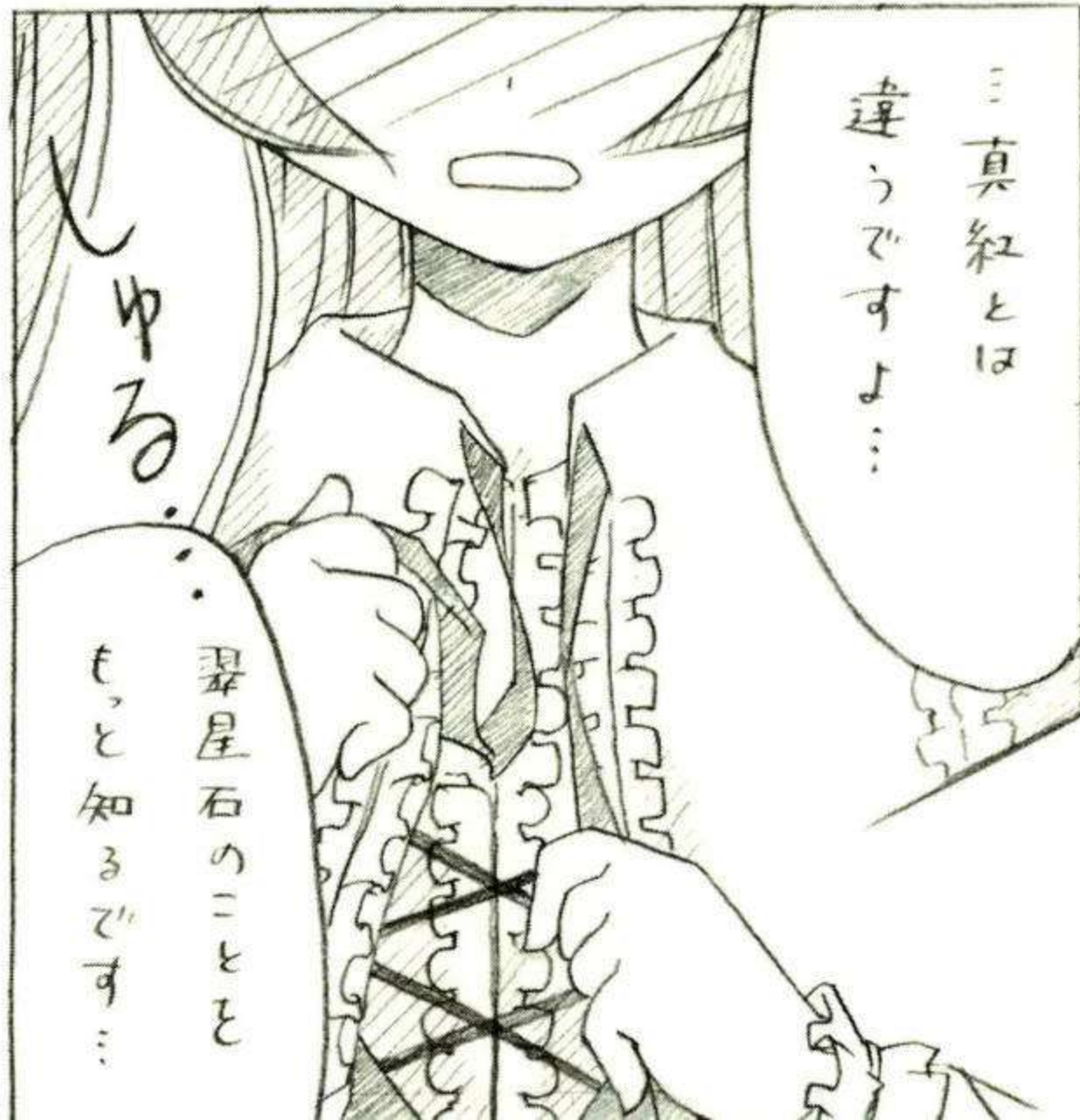
真紅の時と
抱き方が
違うけど

おかし



うっうるさいです

翠星石はこっちの方が
いいんです！！



ミニ真紅とは
違うですよ…

ゆる

…翠星石のことと
も、と知ります…



ジュン：
翠星石の
マスターなら

翠星石に
恥をかかせるのです：



おおい
何を…！

は肌に触れる事を
許してくやるです



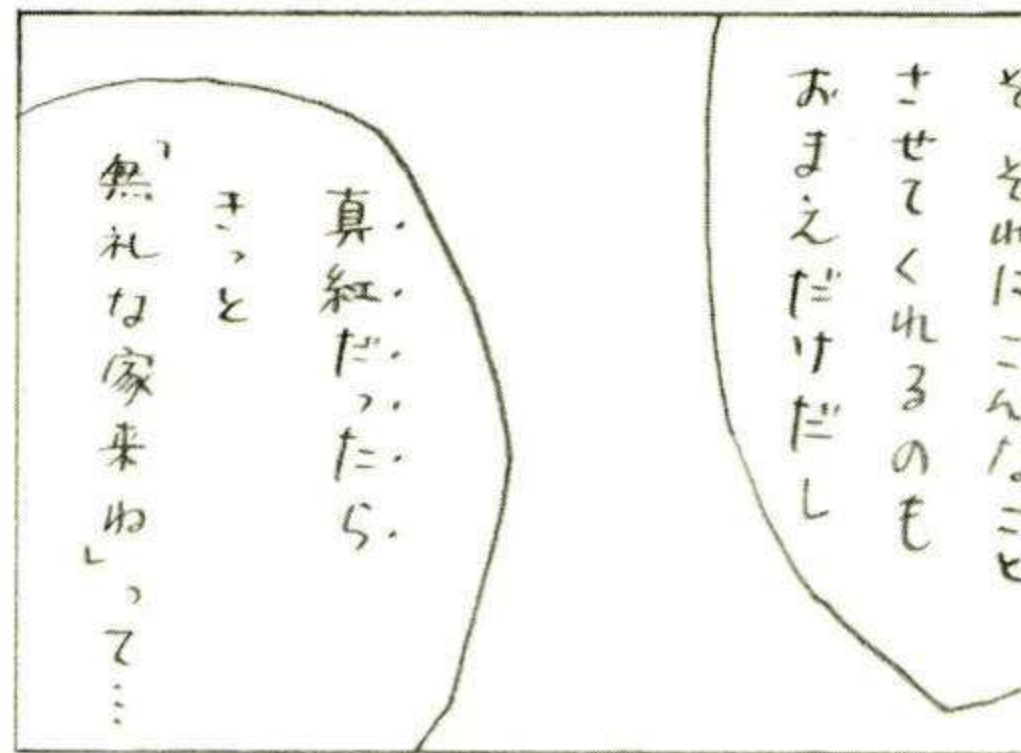
…んっ！！



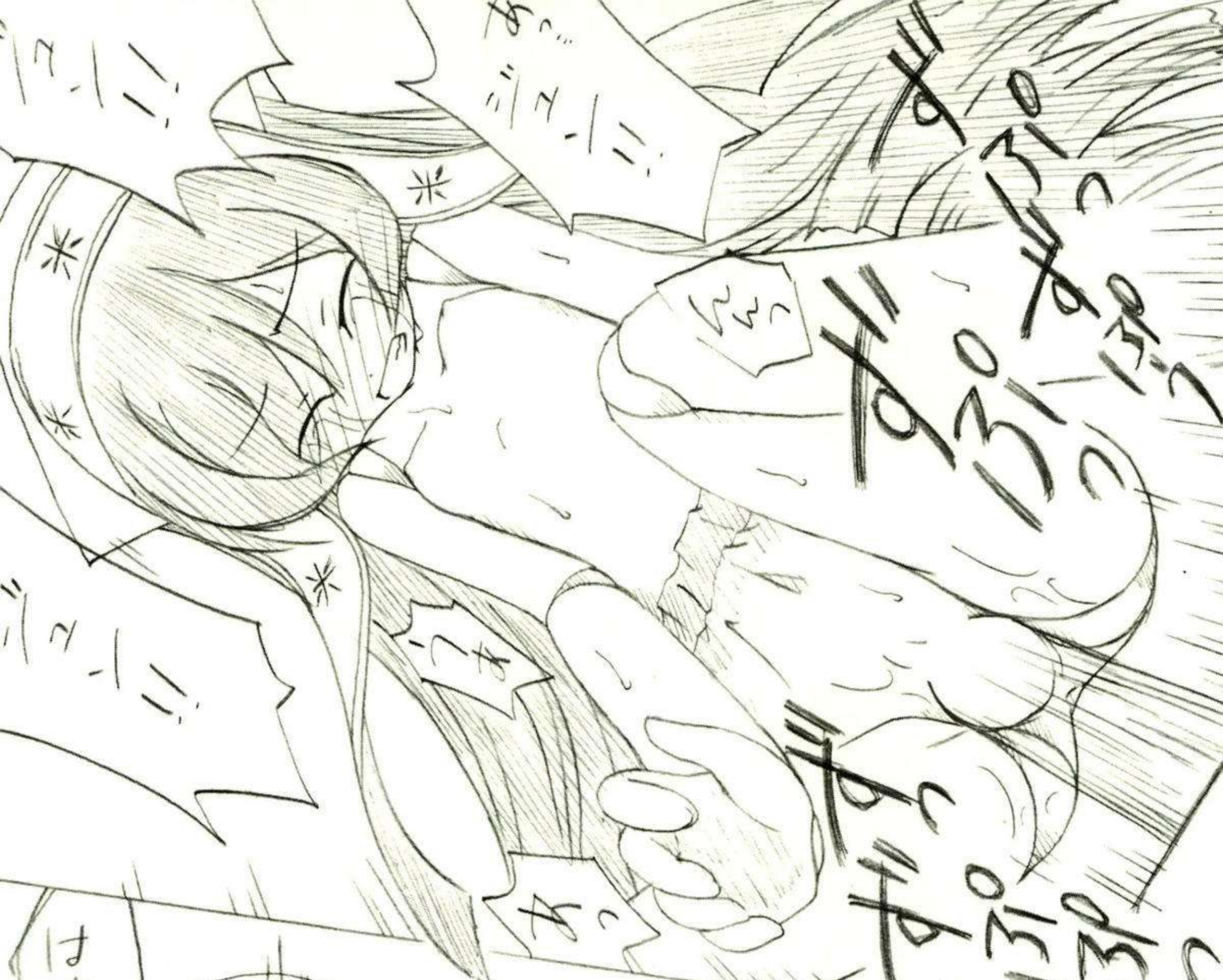
ぎゅっ…



…いっ
マジかよ…







翠星石だけを
見るです!!
す...羽卒...



うう...
ごめん...



はあ

星石...だけ...

ごめんよ...
翠星石...



はあ

シユン...

はあ

ああ!!

ああああ

これで
すっと...

ビク

ビク

ビク

ビク

ビク

翠星石と
いっしょですう...

彦二です。
今回、ローゼンでは初のエロを描いてしまいました。
ローゼンではエロを描かないを信条にしていたのになんということでしょう。
それっきり彦二は動かなくなってしまったのです。

しかし動いた。

ということでいかがだったでしょうか？
ひたすらフェラを描いた男の生き様に少しでも共感を覚えていただければ幸いです。

それでは股どこかでお会いしましょう。

それにしても兄さんの翠、おっぱいが小さすぎるよ。

高見です。
ローゼンで初のエロどころか人生で初のエロまんがを描いてしまいました。
メ切まであと数時間です。さようなら。

あ、仏像の中の男へ。原稿用紙ありがとう。

それにしても彦ちゃんの翠、胸が大きすぎないか？



あまいみず

発行日 2006.03.05 (まきますか?まきませんか?3)

発行 金銀石

著者 西野彦二 (新・彦二部屋)

<http://theflyers.hp.infoseek.co.jp/hiko.htm>

高見リョウ (cageling)

<http://www1.interq.or.jp/ark/>

連絡先 hikoj2@yahoo.co.jp

ark@ml.interq.or.jp

印刷所 緑陽社

※18歳未満の方の購読はご遠慮ください
※本書の無断転載、複製を禁じます